

平成26年度 猪名川町・小学校 学習到達度調査の結果について

■ 調査目的

- 猪名川町教育委員会小学校児童の学習状況を調査し、領域、観点、基礎・活用及び小問ごとにその結果を示すことにより、学習指導上の問題点及び改善点を明らかにする。

■ 調査内容

- 調査の目的に基づき、学習指導要領に定める内容のうち、ペーパーテストで調査を行うことが適当なものについて学力調査を実施した。

■ 調査対象

- 猪名川町内の公立小学校5年生の児童
- 調査対象教科は、国語・算数

■ 調査日

- 平成26年4月22日（火）

■ 調査結果

【小学校の調査結果】

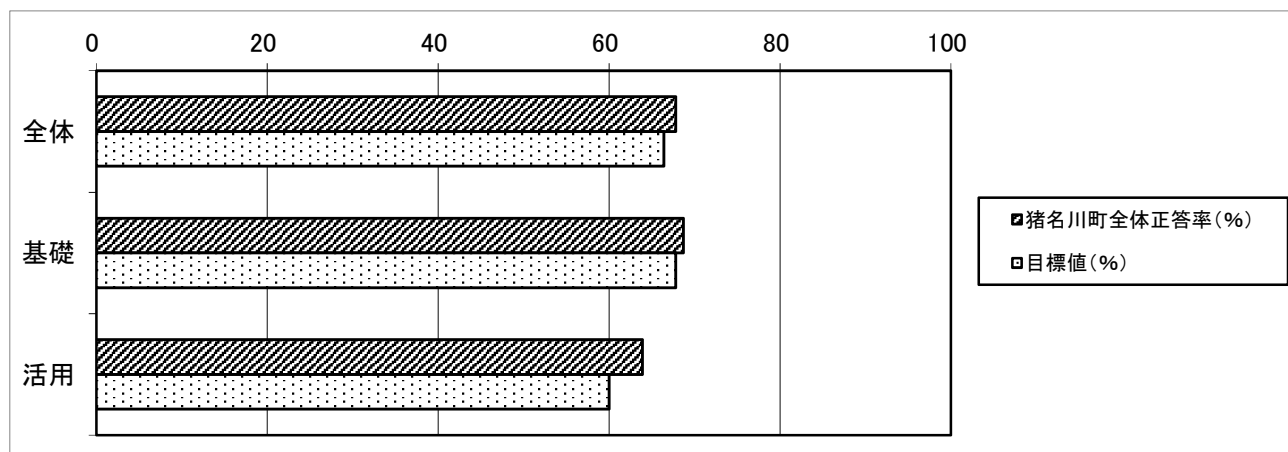
		町全体 正答率 (%)	目標値 (%)	目標値との差	受験者数
小学校 5年生	国語	67.8	66.4	1.4	376
	算数	66.4	66.6	▲ 0.2	376

- 町全体の正答率は、国語・算数共に、全国とほぼ同程度で、良好な状況である。

■小学校5年生【国語】

(1) 基礎・活用正答率

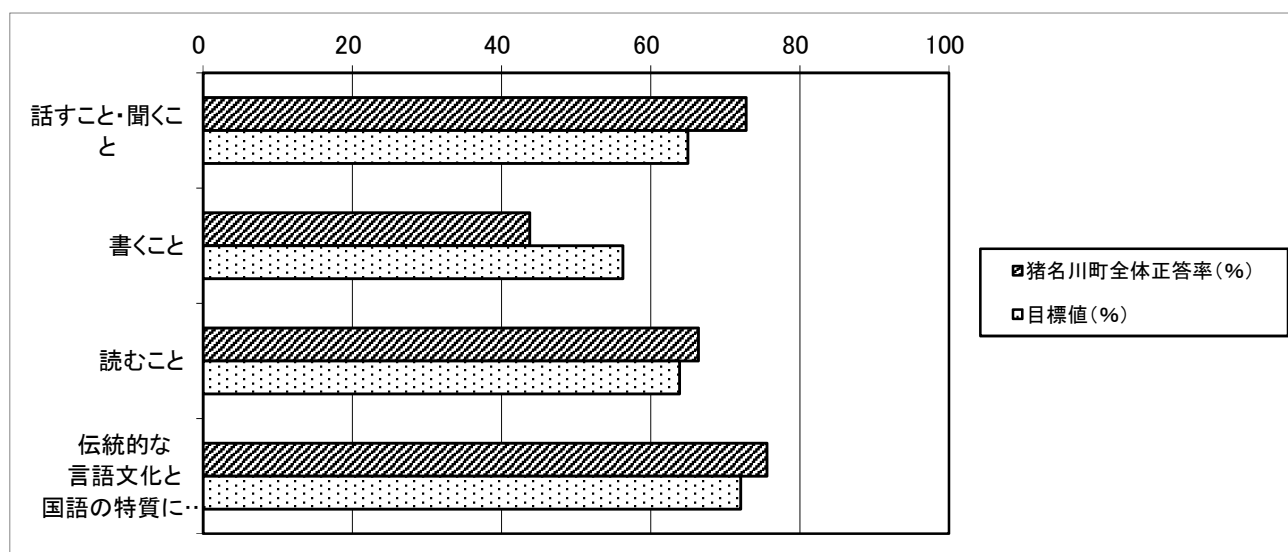
	全体	基礎	活用
猪名川町全体正答率(%)	67.8	68.7	63.9
目標値(%)	66.4	67.8	60.0
目標値との差	1.4	0.9	3.9



- 基礎・活用別に見ると、基礎問題は68.7%と目標値を0.9%上回っている。昨年度目標値を下回っていた活用問題については、63.9%と目標値を3.9%上回っており、良好である。問題の内容別に見ると、「作文」と「言葉の学習」に課題がある。

(2) 領域別正答率

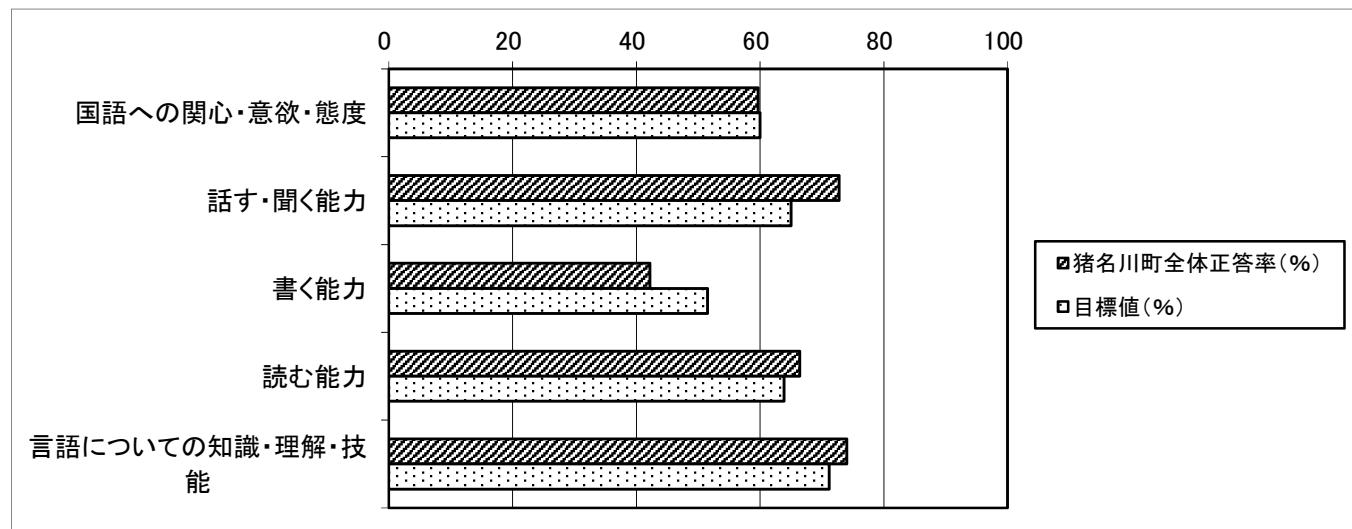
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
猪名川町全体正答率(%)	72.8	43.8	66.4	75.6
目標値(%)	65.0	56.3	63.9	72.1
目標値との差	7.8	▲ 12.5	2.5	3.5



- 領域別に見ると、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は目標値を上回り良好であるが、「書くこと」は目標値を大きく下回っており、課題がある。

(3) 観点別正答率

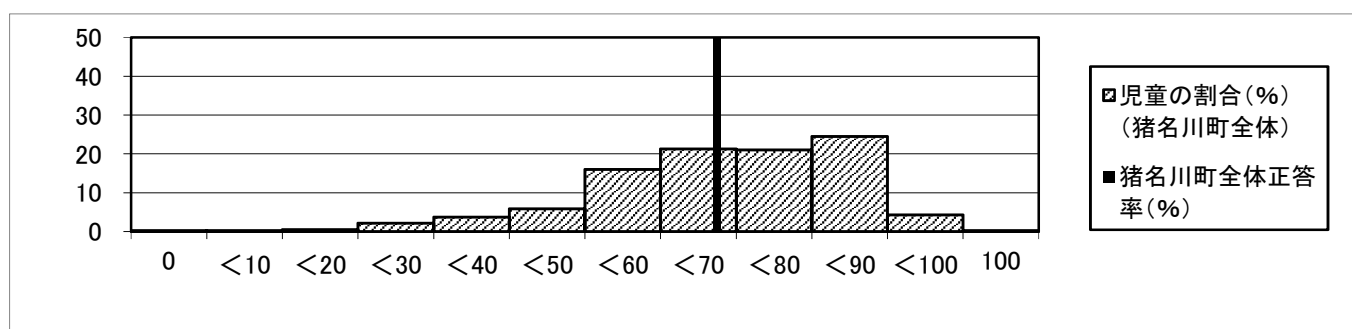
	猪名川町全体正答率(%)	目標値(%)	目標値との差
国語への関心・意欲・態度	59.7	60.0	▲ 0.3
話す・聞く能力	72.8	65.0	7.8
書く能力	42.2	51.5	▲ 9.3
読む能力	66.4	63.9	2.5
言語についての知識・理解・技能	74.0	71.2	2.8



- 観点別に見ると、「話す・聞く能力」「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」は目標値を上回り良好であるが、「書く能力」は目標値を大きく下回っており、課題がある。

(4) 正答率度数分布

正答率(%)	0	<10	<20	<30	<40	<50	<60	<70	<80	<90	<100	100
児童の割合(%) (猪名川町全体)	0.3	0.3	0.5	2.1	3.7	5.9	16.0	21.3	21.0	24.5	4.3	0.3



- 町全体で、正答率80%以上の児童が29.1%と、昨年度の32.6%を下回っている。一方、正答率50%未満の児童は12.8%と、昨年度14.6%より減少している。上位層、下位層とも減少し、中位層が増加する傾向にある。

(5) 課題のある小問についての分析

大問3(1)②

【言葉の学習】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率(%)	15.4	35.0	▲ 19.6	31.5	▲ 16.1
出題のねらい	文の構成(連用修飾語)について理解している。				
対策	どの言葉がどの言葉を詳しくしているのかという文の構造について理解することは、文章を書くときや、正しく内容を読み取るときにも必要である。視覚的に分かる言葉の関係の図を用いて、どの言葉がどの言葉にかかっているのか、文の構造を理解させることが大切である。また、簡単な文の空欄に、様々な修飾語を入れる練習を積ませることも有効である。				

大問4(3)

【物語の内ようを読み取る】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率(%)	63.0	70.0	▲ 7.0	68.5	▲ 5.5
出題のねらい	場面の様子を読み取ることができる。				
対策	物語を読み解くときの一つの有効な手段として、簡単な絵を描かせるというものがある。登場人物の立ち位置、表情、所作などを考えさせ、想像力をかき立てると同時に、本文に書かれている情報を正確に読み取っているかを検証することもできる。その過程で読みが深まり、自分の先入観や認識の誤りに気付く場合もある。確かな想像力をもって、物語を読む力を養いたい。				

大問5(1)

【説明文の内ようを読み取る】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率(%)	63.3	65.0	▲ 1.7	60.7	2.6
出題のねらい	文と文のつながりに注意して、文章を読み取ることができる。				
対策	接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解しているかを見るものとなっている。接続語の使い方については、選択肢を空欄に入れて読むことで感覚的に理解できる児童が多い。しかし、時には接続詞の役割について取り立てて指導することにより、今後の読む力や書く力の育成に効果的に働くようにしたい。				

大問7

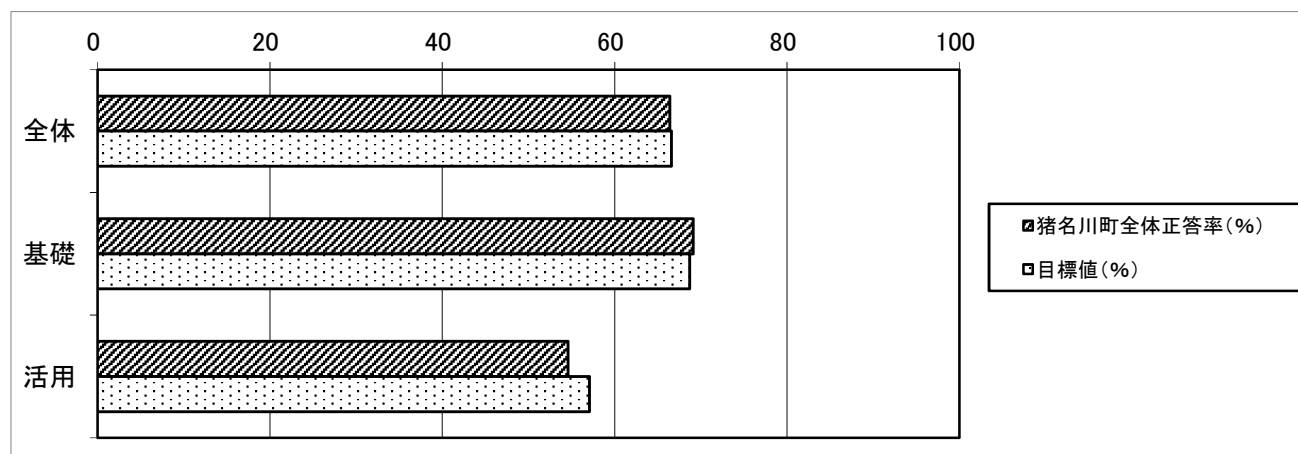
【作文】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率(%)	34.3	50.0	▲ 15.7	51.2	▲ 16.9
出題のねらい	2段落構成で文章を書くことができる。				
対策	文章を2段落構成で書く問題である。「段落に分ける」ということを理解し、実際に段落分けができることが求められる。段落分けができなかった児童に対しては、まず教科書の教材文を示して、段落とはどういうものかを教える必要がある。その上で、意図的に段落のない短い文章を示し、話題の切り替わる場所で段落分けをさせると、段落意識を持たせることができる。				

■小学校5年生【算数】

(1) 基礎・活用正答率

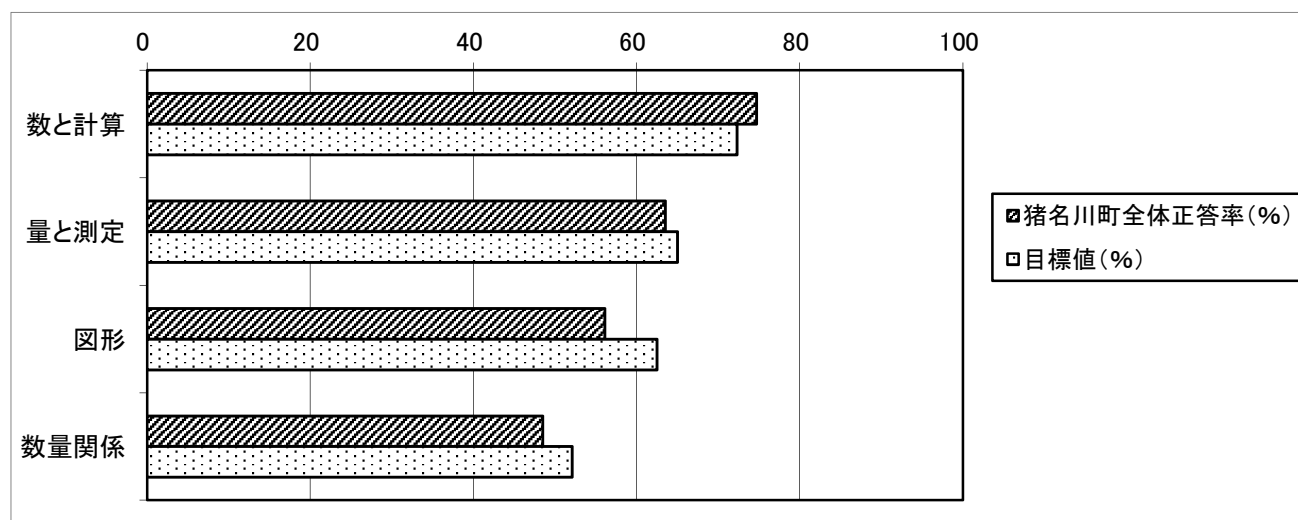
	全体	基礎	活用
猪名川町全体正答率(%)	66.4	69.1	54.6
目標値(%)	66.6	68.7	57.1
目標値との差	▲ 0.2	0.4	▲ 2.5



- 基礎・活用別に見ると、基礎問題は69.1%と目標値を0.4%上回っているが、活用問題については、54.6%と目標値を2.5%下回っており、課題がある。
問題の内容別に見ると、「いろいろな形」と「折れ線グラフと表」に課題がある。

(2) 領域別正答率

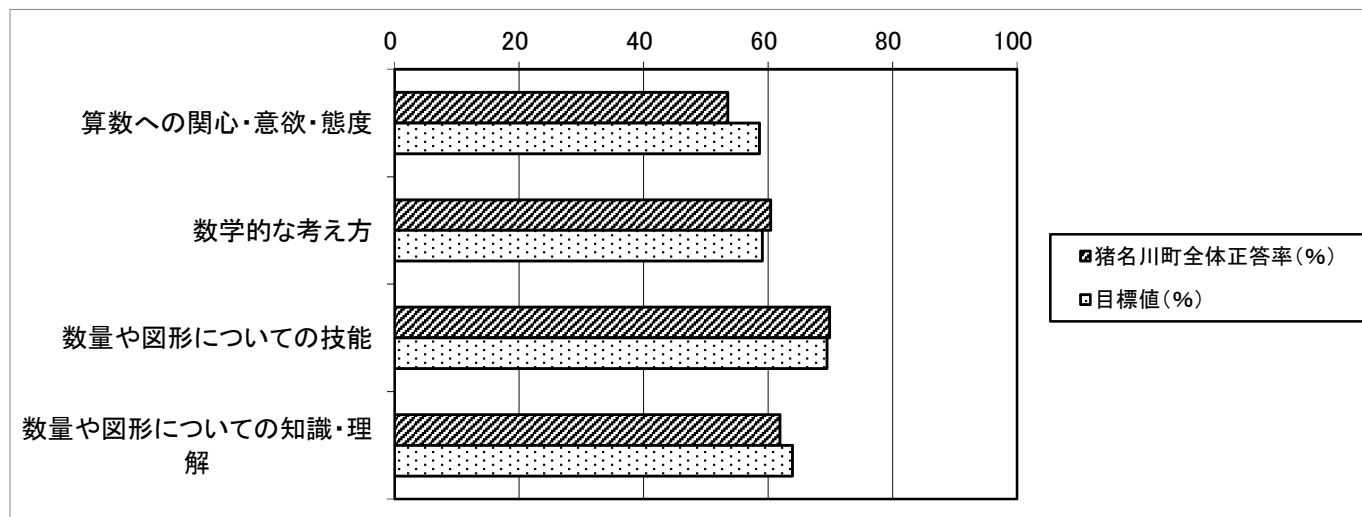
	数と計算	量と測定	図形	数量関係
猪名川町全体正答率(%)	74.7	63.5	56.1	48.5
目標値(%)	72.3	65.0	62.5	52.1
目標値との差	2.4	▲ 1.5	▲ 6.4	▲ 3.6



- 領域別に見ると、「数と計算」は目標値を上回り良好であるが、「量と測定」「図形」「数量関係」は目標値を下回っており、課題がある。

(3) 観点別正答率

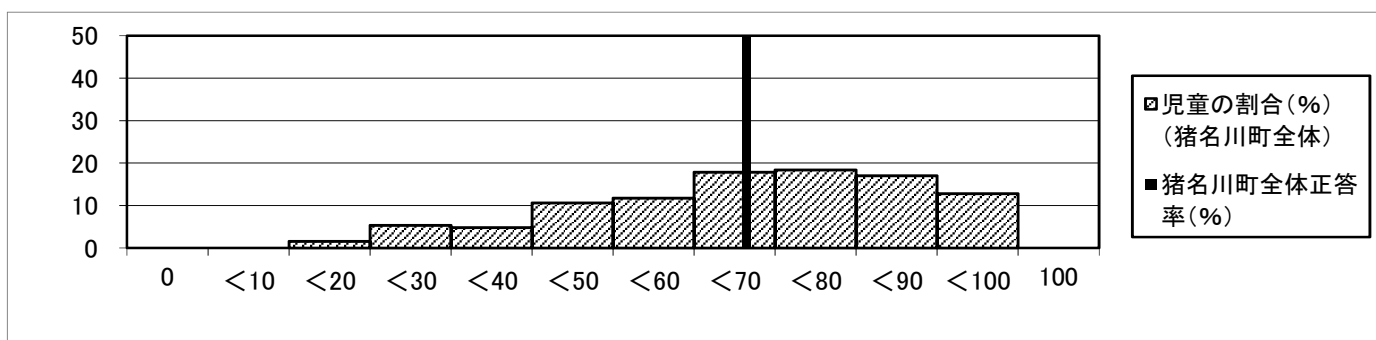
	猪名川町全体正答率 (%)	目標値 (%)	目標値との差
算数への関心・意欲・態度	53.5	58.6	▲ 5.1
数学的な考え方	60.4	59.1	1.3
数量や図形についての技能	69.9	69.5	0.4
数量や図形についての知識・理解	61.9	63.9	▲ 2.0



- 観点別に見ると、「数学的な考え方」は目標値を上回った。一方、「算数への関心・意欲・態度」は目標値を下回った。

(4) 正答率度数分布

正答率 (%)	0	<10	<20	<30	<40	<50	<60	<70	<80	<90	<100	100
児童の割合 (%) (猪名川町全体)	0.0	0.0	1.6	5.3	4.8	10.6	11.7	17.8	18.4	17.0	12.8	0.0



- 町全体で、正答率80%以上の児童が29.8%と、昨年度の31.7%を下回っている。また、正答率50%未満の児童は22.3%と、昨年度の20.3%より増加している。やや上位層が減少し、下位層が増加する傾向にある。

(5) 課題のある小問についての分析

大問7答え

【小数】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率(%)	53.5	55.0	▲ 1.5	56.0	▲ 2.5
出題のねらい	文章問題を解くために立式した整数÷整数＝小数第一位の式から、正しい答えを求めることができる。				
対策	整数の範囲では余りとして求めていたが、小数の範囲では割り進むことができる。割り進む意味については、具体的な場面を通して丁寧に指導する必要がある。割り進んでわりきれない場合、適当な位まで求める場合、割りきれない場合などがあり、児童が混乱する内容でもある。それぞれの場合について、十分に習熟を図ることが大切である。				

大問11(1)

【角の大きさ】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率(%)	74.2	75.0	▲ 0.8	73.4	0.8
出題のねらい	分度器の中に示された角の大きさの目盛りを読み取ることができる。				
対策	分度器は両方向から目盛りが付いているので、どちらの方向の目盛りを読めばよいのか分からなくなる児童がいる。一方の辺に0を合わせたら、その方向からの数字を読ませる指導が必要である。実物投影機などを用いて実演したり、児童一人一人の技能を確認したりといった丁寧な指導を行い、定着させることが大切である。				

大問17

【いろいろな形】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率(%)	55.1	70.0	▲ 14.9	77.3	▲ 22.2
出題のねらい	ひし形の作図ができる。				
対策	ひし形は、4辺の長さが等しく、2組の辺がそれぞれ平行である。この性質が理解できていれば、既にある2辺に続けて正しい辺を描くことができるだろう。図形の指導においては、定義、性質、作図の学習だけではなく、学習した図形を切り取らせたり、敷き詰めたりするなど、操作的活動を取り入れることが大切である。そうした活動を通して、図形への理解を深めていく必要がある。				

大問20(2)

【折れ線グラフと表】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率(%)	42.3	55.0	▲ 12.7	52.9	▲ 10.6
出題のねらい	2つの折れ線グラフを正しく読み取ることができる。				
対策	1本の折れ線グラフで変化の様子を見いだすことも大切だが、複数の折れ線グラフからそれぞれの変化の様子を比較してその特徴を見いだす学習も大切である。折れ線グラフでは、最大値、最小値、その差、傾きの大きさなどいくつかの要素がある。ただ漠然と特徴を読めと言っても難しいので、読む観点を示すことが大切である。				